

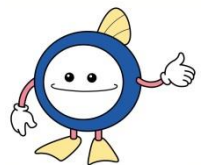
バイオマス発電所が完成

秋里下水終末処理場からガスを供給

エネルギーの地産地消を推進します

竣工式の様子

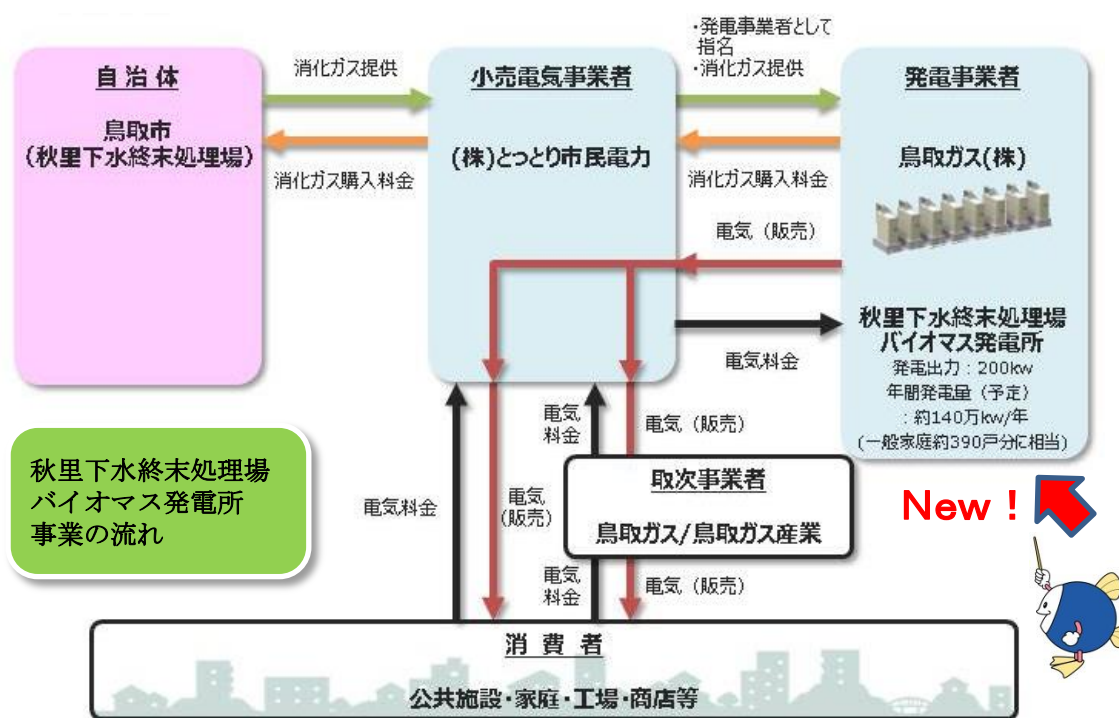
平成29年11月21日(火)、秋里下水終末処理場でバイオマス発電所の竣工式が行われました。



テープカットにより完成を祝う



完成した発電設備



秋里下水終末処理場バイオマス発電所事業の流れ

New!



エネルギーの地産地消って？

- 鳥取市は、「スマートエネルギータウン構想」を掲げ、エネルギーを地域で生み出し、地域で活用する「エネルギーの地産地消」をめざしています。
- 自然に恵まれた鳥取市は、太陽光、風力、小型小水力、バイオマスなどエネルギーの基となる環境が整っています。

下水道と発電は関係あるの？

- 秋里下水終末処理場では、使われて汚れた水をきれいにして、川や海に返すという大切な仕事を日々行っています。
- その下水汚泥を処理する過程で発生する消化ガス(バイオガス)は、電気エネルギーの基になる有益な再生可能エネルギーです。
- 鳥取市スマートエネルギータウン構想に、秋里下水終末処理場は、バイオマス資源の有効利用が可能な施設として位置付けられています。

それぞれの役割は？

- 地域の電力会社等・・・発電所を整備し、消化ガスを利用して発電を行い、地域の消費者に電力を販売します。
- 鳥取市・・・秋里下水終末処理場から発生する消化ガスと、発電所の土地を提供します。

鳥取市



下水道マスコットキャラクター
～ スイスイ ～

下水道だより

人が輝き まちがきらめく 快適・環境都市 鳥取

No.013 平成29年12月発行

発行：鳥取市環境下水道部下水道経営課 Tel.0857-20-3923

マンホールカード

鳥取市のカードが登場！

12月9日(土)から配布開始



マンホールカードとは？

- なかなか目にしたり考えたりする機会がない下水道のことを、より身近に感じてもらうため、自治体と下水道PR団体「下水道広報プラットフォーム(GKP)」が共同で発行し、無料で配布している下水道広報アイテムの一つです。
- 平成28年4月の第1弾から第5弾までの間、全国で194自治体で発行されており、鳥取市も第6弾での発行が決定しました。
- 全国共通の様式とルールで作成・配布することから、コレクションアイテムにもなっており、配布場所ではか入手できないため、わざわざ県外から訪れる方もいらっしゃいます。

いよいよ鳥取市でも配布開始！

- 配布開始日 **平成29年12月9日(土)午前11時～**
- 配布場所 **まちパル鳥取**(鳥取市ふるさと物産館) 住所：鳥取市末広温泉町160
電話：0857-36-3767 HP：<http://www.torican.jp/shopping/machipal>
- 配布方法 直接ご来場いただいた方に、1人1枚配布します。
まちパル鳥取の営業時間内は、常時配布しています。(事前予約や郵送はできません。)

配布開始記念セミナー開催

鳥取市のマンホールのデザインは？

- 旧市域の公共下水道のマンホール蓋には、「鳥取しゃんしゃん祭」で使用する傘がデザインされています。
- 新市域にも、それぞれの地域の特色を反映したデザインマンホールがあります。

今回の記事

中見開き記事
平成28年度下水道等事業の決算

裏面記事

バイオマス発電にガス供給

平成29年9月定例市議会において

《平成28年度下水道等事業の決算》

が認定されました。

財政状況

収益的収支（税抜き）の収入は、下水道使用料31億2,287万円（8.8%増）を含む営業収益が56億7,008万円（8.7%減）で、営業外収益を合わせた総額では95億8,032万円（7.6%減）となりました。

一方、費用は、減価償却費54億6,493万円を含む営業費用が75億4,722万円（3.1%減）、営業外費用と特別損失を合わせた総額では90億3,997万円（3.6%減）となりました。

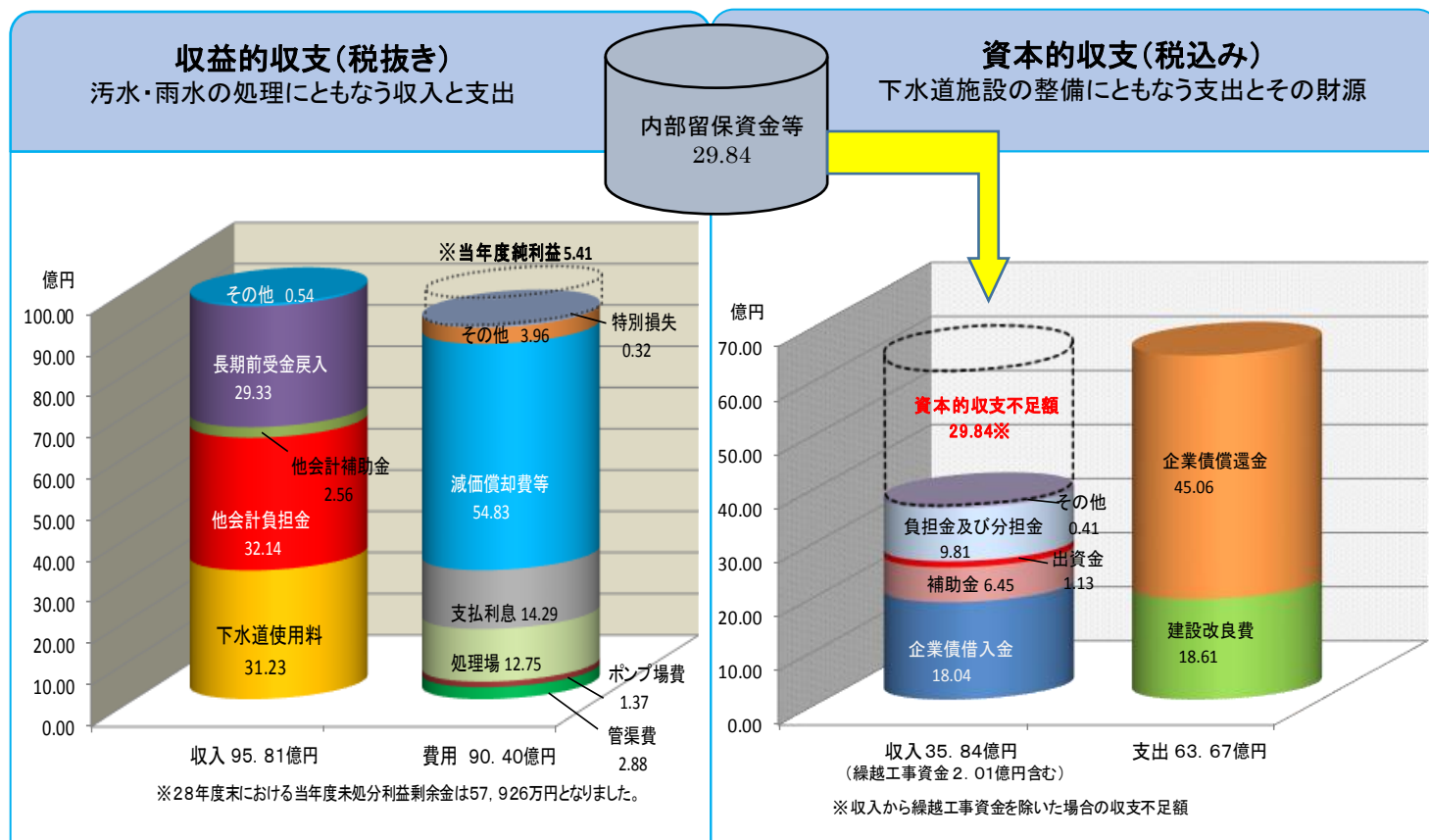
これにより、当年度は、5億4,035万円の純利益を計上することとなりました。

次に、資本的収支（税込み）の収入は、次年度分の繰越工事資金等を除き、総額33億8,297万円（1.9%増）となりました。

一方、支出の総額は、63億6,788万円（4.7%減）となりました。

資本的収入額（次年度繰越工事資金等を除く）が資本的支出額に不足する額29億8,491万円は、内部留保資金等で補てんしました。

()内の割合は、対前年度比。



注記) 端数処理により、収入費用の総額と内訳の合計が一致しない場合があります。

経営状況

今年度末の水洗化人口は、前年度比0.2ポイント増の172,547人となり、水洗化率は、96.3%と前年度に比べ0.4ポイント増加しました。

有収水量は191千m³増の19,889千m³となり、有収率は、81.2%と前年度に比べ2.8ポイント減少しました。

これは、主に法人等を中心とした需要の拡大により有収水量が微増しましたが、人口減少や節水意識の高まり等により有収水量が減少したことによります。

また労務単価や燃料費等の上昇により施設の運転管理費は増加傾向にあることから、下水道等事業を取り巻く環境は、今後も厳しい状況が続くものと予想されます。

引き続き、平成28年度に策定した経営戦略を基に未普及解消及び施設の長寿命化等を計画的に進めると同時に、水洗化率や使用料の徴収率向上をはじめ、効率的な業務運営に心がけ、より一層の経営健全化に努めてまいります。

実施事業

- 未普及対策下水道事業により、公共下水道の整備を進めました。
- 浸水対策下水道事業により、千代水地内ほかの水路整備等を行いました。
- 地震対策下水道事業により、秋里下水終末処理場内の管路耐震化を行いました。
- 水質保全下水道事業により、千代水クリーンセンターなどの施設整備を進めました。
- 改築更新下水道事業により、秋里下水終末処理場の脱水設備、東吉成ポンプ場の長寿命化対策を行いました。



未普及対策下水道事業による管布設状況



着工前 地震対策下水道事業による管渠改築 完成

用語解説

- 他会計繰入金**：主に雨水処理に充てる経費等で、市の一般会計が負担するもの。
- 減価償却費**：複数年にわたり使用できる施設等を新設又は購入した場合に、当該事業年度にすべて費用化せず、定められた耐用年数に応じて年度ごとに配分される費用のこと。
- 長期前受金戻入**：会計基準改正に伴い、償却資産の減価償却見合い分を収益化したもの。
- 企業債**：施設の新設や更新のために外部から借入れたお金のこと。
- 建設改良費**：施設の新設や改良にかかる費用のこと。
- 内部留保資金**：主に減価償却費のこと。これらは、会計上、費用として計上されるが、実際には現金として支払われるわけではなく、企業内に留保されている。
- 有収水量**：処理場で処理された汚水量のうち、料金収入の対象となった汚水量のこと。
 有収率(%) = 年間総有収水量(m³) ÷ 年間総処理水量(雨水除く)(m³)